

[はじめに]

「道路景観形成・保全と 地域づくりの実践に向けて」

国土交通省国土技術政策総合研究所道路環境研究室では、美しい国づくり、活力ある地域づくりに資する今後の道路整備、道路管理のあり方を模索・研究しています。

我が国では、屋外広告物等による景観阻害は日本各地に共通する景観的課題の典型として広く認識されています。景観計画の策定や日本風景街道の取り組みの今後の進展を鑑みると、課題解決の緊急度は極めて高いといえます。そこで、屋外広告物等の除却・改善に係る成功事例の実践的ノウハウを詳細に収集し、〔第1部〕の事例集として取りまとめました。事例集は取り組みの実践に直接的に資することはもちろん、読者の励みになるよう、取組んだ人たちの熱意や得られた効果・成果を伝えることも意図しています。

一方、欧州では、景観政策に関する基本的な法律と成熟した市民社会を背景として、行政と地域住民の協働による、風景を活かした道づくり・地域づくりが行われています。また、欧州における行政と地域住民の関係や取り組みには、各国個別の背景と特徴が見られます。そこで、フランス、イタリア、ドイツの各国からそれぞれコンサルタント、研究者、NPOの代表者を東京に招聘して道路景観施策や取り組みの現状に関する【欧州の風景と地域づくり】セミナーを開催しました。その成果は、〔第2部〕のセミナー報告集として掲載しています。

本資料が、屋外広告物に係る行政担当者をはじめ、道路景観の形成・保全や地域の景観づくりに関わる多くの方々に活用され、今後の道路景観の向上に向けた実践的取り組み、更には道路景観を契機（きっかけ）とした地域づくりの実践への一助となれば幸いです。

平成19年4月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
環境研究部 道路環境研究室